

行事報告

Joint Meeting between Joining and Welding Research Institute, Osaka University and School of Mechanical and Aerospace Engineering, Nanyang Technological University -Collaborative Joint-Research-

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 極限環境対応グローバル接合部門 特任准教授

2016年7月26日～27日の2日間にわたり、当研究所と南洋理工大学（シンガポール）School of Mechanical and Aerospace Engineering との間で国際合同会議を開催しました。本開催は、本学の国際合同会議開催支援により南洋理工大学から4名の教員及び研究者を招へいし、実現しました。南洋理工大学とは2015年12月10日に南洋理工大学側にてワークショップを開催し、当研究所から5名の教員が参加することで双方の研究活動について情報共有を行いました。その後、国際共同研究の実施に向けコミュニケーションを図ってきましたが、今回の会議は実際に接合研の機材、設備を見学することで、具体的に国際共同研究実現へ踏み出すことが目的となりました。

南洋理工大学からは Pang 准教授, Zhou 准教授, Moon 助教, Tsang 研究員の4名が、当研究所からは近藤教授、西川准教授、堤准教授、菅客員教授

が共同研究協議に参加しました。既に昨年12月のワークショップ以降、研究分野によって双方関係者のマッチングが行われコミュニケーションを図ってきたことから、26日初日に研究所紹介及び設備見学が行われた後は、各研究室に分かれて具体的な協議を実施しました。

2日間の協議の結果、それぞれ“Direct Bonding of SLM parts”や、“Fatigue crack initiation and propagation analysis of laser clad specimens”及び“Laser soldering and brazing”などに関する国際共同研究及び研究協力が開始されることとなりました。

昨年のワークショップ開催に加え、回の訪問により、当研究所と南洋理工大学の研究交流が大きく前進する成果が得られました。

